

中小企業の生き残り作戦！





## 製造業の 経営戦略

2013生産ゼミの課題研究



株式会社 IMEコンサルティング  
代表取締役 立居場誠治



### 定期経営セミナー開催要領

- 場所  
大田区産業プラザ(Pio) 蒲田
- 日時  
3月 1日(金) F会議室 (2月分)  
3月22日(金) F会議室
- 18:30から1.5～2時間程度
- テーマ  
- 企業経営関連のテーマを時期と希望により選定する

## 生産ゼミ 第一回資料

東京校 基本日程計画				関西校 基本日程計画			
	日程	主な内容	宿題等		日程	主な内容	レポート宿題
①	第1回 2月22日(金)	・自己紹介、ゼミ方針説明	リサーチアプローチ、VTR	①	第1回 2月18日(月)	・自己紹介、ゼミ方針説明	リサーチアプローチ、VTR
②	第2回 3月15日(金)	・ゼミナール別の学習研究	デザインアプローチ	②	第2回 3月11日(月)	・ゼミナール別の学習研究	デザインアプローチ
③	第3回 4月19日(金)	"	戦略テーマ選定・計画	③	第3回 4月25日(月)	"	戦略テーマ選定・計画
④	第4回 5月16日(木)	・ゼミナール論文 <b>中間発表会</b>	レポートテーマ選定	④	第4回 5月13日(月)	個別テーマの学習	レポートテーマ選定
⑤	第5回 5月17日(金)	・ゼミナール論文の作成	テーマ内容詳細調査	⑤	第5回 6月10日(月)	レポートテーマ <b>中間発表</b>	テーマ内容詳細調査
⑥	第6回 6月14日(金)	"	対策案作成	⑥	第6回 6月11日(火)	・ゼミナール論文の作成	対策案作成
⑦	第7回 7月26日(金)	"	手順等作成・実施計画	⑦	第7回 7月8日(月)	"	手順等作成・実施計画
⑧	第8回 8月19日(月)	"	成果確認、まとめ	⑧	第8回 8月5日(月)	"	成果確認、まとめ
	第9回 8月20日(火)	・ゼミナール論文 <b>提出</b>			第9回 8月6日(火)	レポート <b>提出</b>	
	第10回 9月12日(木)	・ゼミナール論文 <b>発表会</b>			第10回 9月5日(木)	<b>発表会</b>	
		"				発表会	

### 1. 第一回の要領

- (1)ゼミ方針、活動の概要説明 ゼミ論文の考え方(ストーリー)の説明
- (2)自己紹介
  - ①自分のこと … 趣味、趣向、その他
  - ②会社のこと … 会社名、製品(何を作っているか)、自分の担当、会社の現状・困りごとなど
  - ③生産ゼミを選んだ理由と期待
- (3) レポートのパターン紹介
- (4) 過去の報告書の例
- (5) これからの製造業
- (6) ゼミ長の選出
- (7) 宿題、チェックシート類の説明

### 2. 自社の実態調査 (宿題)

- (1) 配布物の調査・書き込み…ゼミ論文の前半部分になる
- (2) 製品説明…写真、小さな物なら現物を持ってきてほしい
- (3) 組織図、工程図、レイアウト図…簡易なものよい
- (4) VTR撮影 (写真)

### 3. 次回の要領

- (1)会社紹介
  - ・Word「会社紹介」
  - ・組織図、工程図、レイアウト図、製品(写真)による工場・製品の紹介
  - ・VTRで工程の紹介
- (2)前回宿題の確認
- (3)次回までの宿題の説明
  - ・デザインアプローチのやり方・考え方など

### 生産ゼミの約束

1. 切磋琢磨 ～ 生産ゼミはひとつのチーム、協力関係！ (東京校と関西校、一体で考える)
2. 事実・証拠に基づくこと → (報告書のためのうそ、でっちあげをしない)
3. 守秘義務の厳守 → ゼミ内情報開示

## 生産ゼミのテーマ例

東-24	原価低減のアプローチ		
東-24	非稼働時間の低減によるコストダウン		
東-24	試作・小ロットのワンウイーク対応体制の構築		
東-24	生産体制の増強と生産性の向上		
東-25	保全システムの構築		
東-25	業務効率化のIE的アプローチ		
東-25	次期製品へのアプローチ 工場再編への1st ステップ		
東-25	顧客ニーズの製品化とコスト削減の為の現場改善		
東-26	川崎事業所の革新		
東-26	製品別製造原価の改善		
東-26	生産性向上による適正利潤の確保		
東-26	作業管理と設備管理システムの構築による生産性向上		
東-26	計画の実行管理体制充実による QCD の向上		
東-27	技能伝承と生産管理体制の整備	西-26	原価管理体系の構築
東-27	顧客要求納期に対応できる生産体制の確立	西-26	従業員のスキルアップ
東-27	組織管理による製造効率 10%UP	西-26	歩留りなどを中心とした材料費の低減
東-27	技術向上と企業改革	西-26	組織管理システムの構築
東-27	工程管理の仕組みの見直し		
東-27	経営参画意識の向上と業務品質の向上で収益向上を図る		
東-27	製造および品質の管理体制の整備		
東-28	計画実行管理体制掘下げ及び原価ロスの現状把握について	西-27	高付加価値製品の開発・コストダウン
東-28	社員個々の能力アップさせるための人財作りを強化する	西-27	生産変更に対応した生産体制の再構築
東-28	一日工程の確立によるリードタイムの短縮	西-27	工場内の体質改善
東-28	管理体制強化による素子品質向上	西-27	低コストの標準機開発
東-28	製造コストの低減		
東-28	～持続的な企業経営にむけて～ 環境経営と組織管理		
東-28	家電配送における改善事項 標準時間設定		
東-29	リスクマネジメントシステム構築	西-28	設計業務の生産性向上
東-29	「産廃部門の独り立ちに向けて」従属型から自立型へ	西-28	ブルーオーシャンを創成する新製品開発の仕組み作り
東-29	管理・改善による製造原価の見直し	西-28	商品開発・管理システムの構築(導入編)
東-29	～日本一のサービスを行うために～ 品質管理の最適化	西-28	気づき力、応用力のある社員の育成
東-29	業務の現状把握と標準化	西-28	プラスチック加工技術と対応力でお客様企業を支える
東-30	組織管理の最適化	西-29	アコオ流高付加価値製品の開発
東-30	原価低減に向けた組織管理体系の構築	西-29	高い顧客満足で選ばれる我が社の構築
東-30	次期基幹システムへのアプローチ	西-29	目指せ！日本一のプロ技術集団
東-30	品質コストマネジメントの構築による経営改善		
東-30	原価管理体系の構築		
東-30	機械加工工程の生産効率の向上		
東-31	受注変動に対応できる生産体制の確立	西-30	企業リスクへの対応
東-31	収益性の改善に向けた生産体制の構築	西-30	新製品開発体制の強化
東-31	短納期対応に向けた社内環境の仕組みづくり	西-30	環境変化に対応する工場進化論
東-31	ナレッジマネジメントシステムの構築	西-30	組織の基盤づくり
東-31	メンテナンス作業管理体制の構築	西-30	技術伝承と小回りの利く組織創り
東-31	生産管理ネットワークの構築	西-30	生産性を向上するために今できる事
東-31	震災を乗り越え、夢のある未来を目指す	西-30	技術力のある社員育成
東-32	受注の変動に耐え得る生産体制の構築	西-30	収益性の高い企業を目指して
東-32	製造現場の生産性向上	西-31	TPM(全員参加の経営体質改善)活動の立て直し
東-32	納期遵守	西-31	受注変動に対応するための生産体制の確立
東-32	フレキシブル生産体制の構築	西-31	リードタイムの短縮 5年後に売上 100 億円達成
東-32	日本本社と同一品質、同一工数を目指して	西-31	地産地消を通しての地域貢献
東-32	生産性を向上させる製造業務管理のシステム	西-31	NCコア、NPコアの生産高を5年で2倍にする
東-32	情報セキュリティシステムの構築		